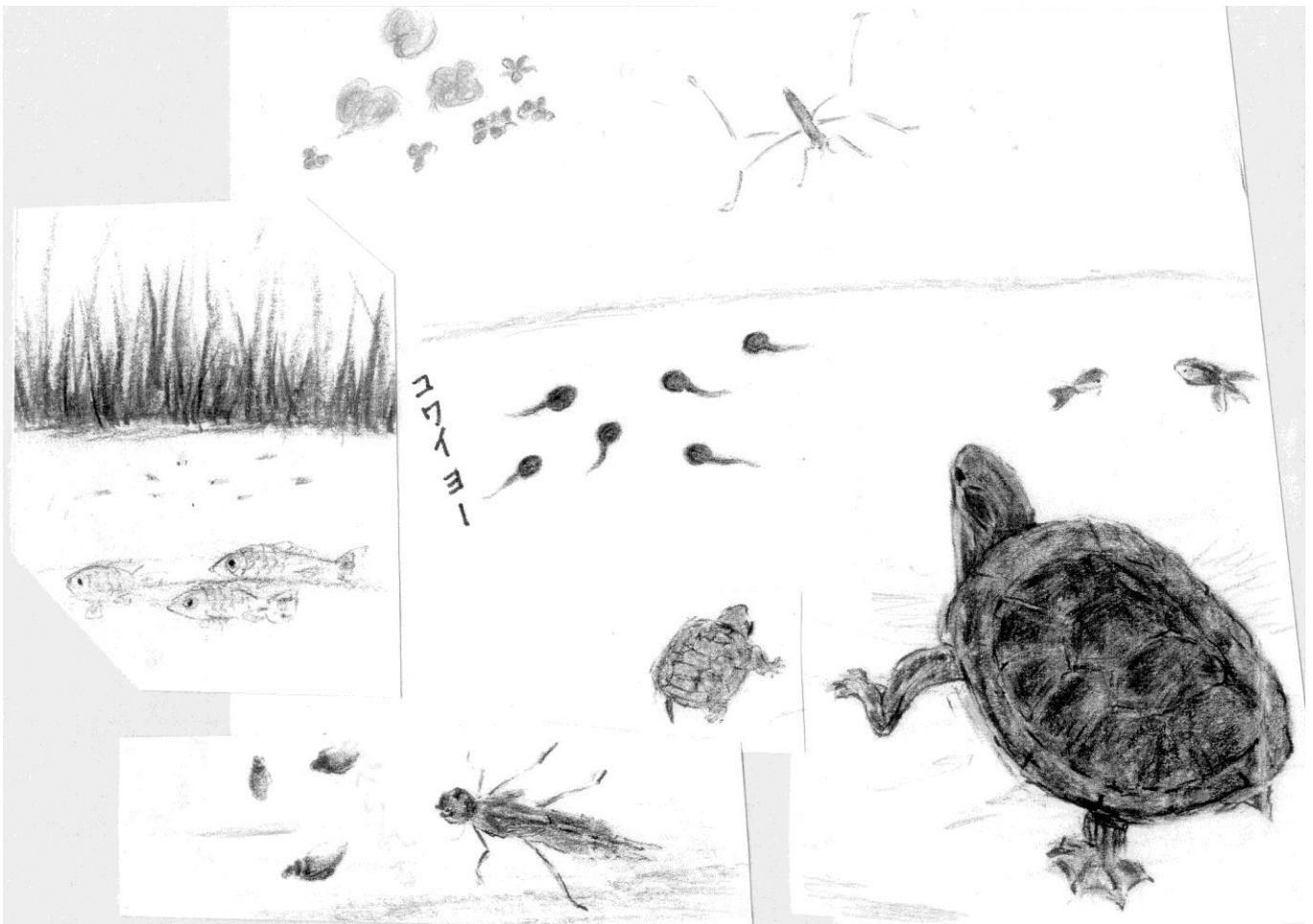




# ゴロスケ報々



## 友の会行事のお知らせ

### ●ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう●

ミズキの池の草刈りは、ハイドからの見通しを良くして、訪れてくれる野鳥達の姿を来園者に見易くする為に、毎年この時期に実施しています。会員の皆様のご協力をお願いします。

1. 集合日時 : 9月6日(日) 9時10分
2. 集合場所 : 観察センター前
3. 作業時間 : 9時30分~11時
4. 作業場所 : ミズキの池ハイド前
5. 服装等 : 汚れても良い服装、飲み物、軍手
6. 参加資格 : 友の会会員(中学生以上)

担当 カワセミファンクラブ

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

## ●7月定例会報告●

日時 2015. 7. 19 (日) 13:00~15:30

出席者 山口、村松(議長)、大浦、青木、渡部(書記)、橋詰、落合、中里  
高橋む、次田、山路、高橋も、古南R、掛下R

### 議事

1. 友の会の行事報告、プロジェクト報告をしました。年間計画通りの行事を実施しました。
2. 友の会の行事予定を確認しました。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
  - ・金沢区民活動コーナー(ゆめかもん)での展示を終了しました。
  - ・10月25日実施の秋まつり(昨年度までは「ボランティアまつり」)の内容を検討し、昨年度と同じ内容で実施することが決まりました。
  - ・腕章の調査を行いました。160の内31の腕章が不明もしくは紛失しています。各PJでの管理をお願いします。
  - ・ごろすけ館の倉庫に除湿機が入りました。効果のほどは湿度計を設けてチェックしていきます。
  - ・センターのミーティングルームの友の会のプリンターが不調です。印刷はできるのですが、全体に黒っぽくなってしまいます。ミーティングルームのノートPCをごろすけ館のプリンターにつなぎ、印刷をしてください。なおプリンターを使用した場合に、パソコンラックの横につるしてあるノートに必要事項を必ず記入してください。
  - ・新入会員が3名ありました。
5. センターより
  - ・センター主催行事へのボランティアとしての参加、ありがとうございました。
  - ・「生きものを知る守るシリーズ」ボランティア参加募集中です。
    - 7/26、8/8「水辺の調査隊」
    - 9/12、10/3「草地のバッタ調査隊」
  - ・長倉口野外トイレは10月上旬完成予定です。それまで仮設トイレの利用になります。

その他、センターだよりのページをご覧ください。

次回の定例会は  
9月20日(日)13時から  
センター研修室  
定例会は会員どなたでも参加  
できます。

## 不思議な野菜、落花生

友の会の畑では、夏に落花生の黄色いかわいい花が咲く。この落花生の実は土の中だけで熟すのは、ご存じの通りである。でもこの地中に種をあらかじめ蒔いてしまうという生殖方法は、子孫を広く分布させるのに効率が悪いように思える。一つは、生育範囲を広げにくいことである。種を埋めることのできるのは元の位置からせいぜい1、2メートルの範囲だろうから、特別の事でもない限り百年で200メートルも広がらない。しかも、途中で川や山があったら越えるのは難しい。おまけに種は油が多すぎてすぐ腐る。地中では何年も持ちそうにない。もう一つは、せっかく一つの莢の中に種を数個作るのに、莢ごと土の中にいると、一つの莢から一つの芽しか成長できず、残りの種は無駄死にになってしまうことだ。莢が硬くて、生育初期に生育の良い豆が悪いものを押しつぶしてしまうためらしい。圧死である。種を作るのに多量のエネルギーを使うにしては効率が悪すぎる。友の会の畑でも、採り残した莢から2株以上の苗ができているのを見たことがないから、このことは確かだろう。何故こんなへんてこりんな植物が世界中に広まることができたのだろうか。それには人間との共生が大きな手助けとなったと思えるが、それだけであろうか。

落花生の原産地は南アメリカだ。今の栽培種は野生種の交配種だということは分かっているが、その親の野生種はまだ特定には至っていないらしい。栽培されていた落花生は人の手で先ずアフリカに渡り、その後北アメリカやヨーロッパに渡った。そして今では世界中で栽培されている。日本は明治初期から栽培が始まったらしいが、現在では生産性が悪いことから、最盛期より生産量は減っている。

それにしても、どんな風に落花生は進化してきたのだろうか。落花生が人間に出会うまでにどんな手段で遺伝子を引き継いできたのだろうか。じっと自生地を守っていただけなのだろうか。人間以外にも落花生の繁栄を助ける何者かがいるのだろうか。それともこの変てこな方式に変異したとたん、すぐに栽培しようとする人間に出会うという幸運があったのだろうか。ただ想像しても、漠として南アメリカの霧の中をさまようようだ。

参照：落花生 前田和美 法政大学出版局 2011

畑プロジェクト 落合道夫

## 定例行事の報告

### ●「定点カメラで動物調査」報告●

6月 スタッフ5名、参加者5名。7月 スタッフ5名、参加者7名。

5月～11月の第2土曜日に活動しています。森の中にカメラを設置、1か月後に回収し、写真チェックを行っています。7月の活動日には、これまでよく写真チェックに来てくださっている母娘さんに、カメラの設定・設置にも立ち会って頂きました。今後ますます調査にも興味持ってくれたらうれしいです。

さて、写真チェックはセンター内のディスプレイを借りて、通りがかりの方々にも参加してもらって、わいわい言いながらたくさん目で見えています。5月に撮った写真では、タヌキ、ネズミ、アライグマ、ハクビシンなどお馴染みの動物が写りましたが、一つ分からないことがありました。撮影時間が4時間ほど違う2枚の写真を比べると、ある道筋にそった所だけ落ち葉が動いているのです。何者かが地面の下あるいは葉っぱの下を通った？ しかしよく見るとその道筋の途中にある石には、何者かが擦ったような跡が・・・ということは下ではなく上を通った？・・・けれど写真には写っていないし・・・謎は深まります。

## 友の会行事のお知らせ

### ●森の作業体験「炭焼き」●

横浜自然観察の森で「炭焼き」の体験をしよう

- 日時 : 2015年9月19日(土) 9～14時
- 場所 : 横浜自然観察の森(栄区) 炭小屋(集合場所も同じ)
- 募集 : 小学生以上30名、小学生保護者同伴
- 申込方法・締め切り等
  - ・自然観察センターへのFAX、あるいはEメールでお申し込み下さい
  - ・参加者全員の氏名、年齢、代表者の電話番号を記入のうえ、下記までお申し込み下さい  
FAX : 045-894-8892(自然観察センター)  
または、E-Mail : kansatsunomori@gmail.com
  - ・締切り : 9月11日(金)
- 当日の内容 : 炭を焼く作業体験、火起こし、コースター作り等
- 雨天・荒天時について :  
前日18時30分以降の天気予報で、降水確率50%以上の場合は中止とします  
《作業体験の順延はありませんが、炭焼きは実施いたします》
- 服装・持ち物について :  
汚れてよい服装(長袖長ズボン)・スニーカー・帽子・手袋・汗拭きタオル・昼食・飲料
- 問合せ先  
横浜自然観察の森 自然観察センター (横浜市栄区上郷町1562-1)  
TEL 045-894-7474(9:00～15:00 月曜休館)  
あるいは、上記Eメールまで
- 主催 : 横浜自然観察の森 友の会 雑木林ファンクラブ  
(雑木林ファンクラブも会員募集中です)

このイベントは 花王、みんなの森作り活動助成をうけておこなわれます

## ●カワセミファンクラブ旅鳥写真展●

今年も秋の特別写真展を実施致します。「旅鳥写真展」と銘打ちましたが、「旅鳥」とは、一般的には渡りの途中で日本に立ち寄る鳥達の事です。今回は日本で繁殖する鳥でも、春や秋にこの森を通過するだけの鳥達も含めて「旅鳥」とし、会員がこの森で撮影した野鳥写真を、来園者に公開します。多くの方々の心に残る写真展になる事を願っています。

1. 開催期間 : 2015年10月4日(日)～11月3日(火)
2. 開催場所 : ゴロスケ館
3. 主催 : 友の会「カワセミファンクラブ」

## ●横浜自然観察の森秋まつり●

日時 2015年10月25日(日) 10:00～13:40(受付9:45～)  
場所 横浜自然観察の森観察センター前集合

「横浜自然観察の森ボランティアまつり」改め「横浜自然観察の森秋まつり」と名称を変え、友の会の紹介と、各プロジェクトの活動を体験していただく行事です。

畑の収穫、森の絵本の読み聞かせ、自然ガイドツアーなどを体験します。

申し込み 行事名(秋まつり)、参加者全員の氏名・年齢、代表者の連絡先、緊急連絡(携帯電話番号)を記入の上、

E-mail kansatsunomori@gmail.com または Fax 045-894-8892

へお申し込みください。先着30名

※小学生までのお子様は、保護者同伴でお願いします。

## ●2015年度「いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座」●

身近な自然の素材を使って、生きものたちのくらしやそのつながりをわかりやすく伝える自然案内「インタープリテーション」、そのスキルとプログラムの作り方を、体験的に学ぶ二日間のコースです。

横浜自然観察の森の定例のガイドウォークの実践的な視点やノウハウを皆さんと共有しながら講座を進めます。

自然案内人を目指す方、自然観察会などの運営にかかわっている方だけでなく、自然の見方を更に深く学びたい方にもお勧めします。

また、希望者は横浜自然観察の森のボランティアとして勉強を続けることも可能です。

期日: 2015年11月28(土)・29日(日) 9:30～16:00(二日間コース)

場所: 横浜自然観察の森(横浜市栄区) <http://park15.wakwak.com/~yokohama/>

内容:

(一日目) 自然のメッセージを受け取る多様な視点に気づこう

(二日目) 自然のメッセージをわかりやすく伝えてみよう

定員: 20名(先着順)

参加費: 1000円/人・二日間(横浜自然観察の森友の会会員は500円)

申込締切: 定員を超えた時点、または10月25日(土)

問合せ、申し込み:

電子メール kansatsunomori@gmail.com

氏名、〒住所、緊急連絡電話、メールアドレス(携帯も可)、簡単な受講動機

# YOKOHAMA NATURE SANCTUARY NEWS 8

横浜自然観察の森・自然観察センターだより

2015年 8月号

## おしらせ・お願い

### ●園内の工事と業者さんによる環境管理作業の予定

#### ◆長倉口の野外トイレの改修工事

- ・トイレの建て替えの工事を10月上旬までの予定で行なっています。  
現在のトイレは工事の途中で閉鎖し、10月までの間は仮設トイレを設置します。

#### ◆業者さんによる園内の樹木の伐採、草刈

- ・環境管理のため、8月末まで横浜市に委託する造園業者さんによる草刈・草拔を実施しています。
- ・9月から、過去に植栽された樹木等、横浜市本来の自生種ではない樹木や竹の伐採を順次行っていきます。(ミズキの池のハイドの周辺のトウネズミモチ、桜林のソメイヨシノ等)

#### ◆生きものへの影響が少なくなるように行いますが、お気づきの点があれば、レンジャーまでお知らせください。

◇ピクニック広場は水道施設の耐震工事のため、2017年1月31日まで使用できません。

◇何かとご不便をおかけしますが、利用者の皆さんの利便性・安全性向上と環境の改善のための作業ですので、ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



## 保安全管理計画のフォローアップ

### ★保安全管理フォローアップの会★ 報告

第2回 7月4日(土) 13:00~15:00

○参加者 友の会7名(橋詰齊さん、片岡草さん、藤原功さん、落合道夫さん、渡部克哉さん、上原明子さん、篠原由紀子さん) 横浜市(藤田智さん) レンジャー(古南幸弘、瀧本宏昭、掛下尚一郎)

○内容 5月に引き続き、草本層の植生の変化を記録するために5m四方の調査区を新たに1ヶ所設置し、調査しました。36種の植物を記録しました。ほとんどが草ですが木はまだ小さいヤマグワやエノキの他、外来種のハリエンジュと思われる芽生えも見つかり、セイタカアワダチソウと併せ抜き取りました。



### 次回 9月5日(土) 13:00~16:00 勉強会「桜林・炭小屋裏の植生データを読む」

講師：中村幸人先生(東京農大教授)

今までの調査データを基に、林の植生変化を予測します。園内の環境管理にご興味、ご意見をお持ちの方はどなたでもご参加ください。なお資料の準備の都合上、ご出席いただける方は、できるだけ前日までに古南、瀧本までご連絡ください。

### ★クツワムシ分布調査★ (参加者募集)

夏のおわりに「ガチャガチャガチャガチャ…」と夜鳴くクツワムシは、林縁や林内のやぶが好きな昆虫で、神奈川県レッドデータブックでは「要注意種」とされ、数の少なくなってきました。園内では桜林を中心に分布していますが、この変化を調べる調査を一昨年から行っています。クツワムシの様子から、林の管理がうまくいっているかどうかをチェックするのです。鳴く虫の好きな方、ぜひご参加ください。

★対象：中学生以上 要お申込み(レンジャーごみなみまで)

○集合 18:30 自然観察センター 中締め 20:10 終了 21:10 自然観察センター付近

○調査日 8/15(土) 予備調査 22(土) 29(土)  
 9/5(土) 12(土) ★各回、風雨が激しい場合は翌日に延期。  
 ○準備等：歩きやすい調査のできる服装(長袖・長ズボン)・靴で。懐中電灯。虫よけ。



★保管理想談会★ 報告 第1回 6月20日(土) 15:00~16:00

○参加者 友の会8名 (山口博一さん、中里幹久さん、大浦晴壽さん、  
 村松古明さん、片岡章さん、関根和彦さん、橋詰齊さん、藤原功さん)  
 横浜市(平井大輔さん、藤田智さん)、レンジャー(古南幸弘、瀧本宏昭、掛下尚一郎)  
 ○内容 今年度、横浜市(委託業者)の行なう草刈や外来種(ツバキ、メタセコイア等)の伐採等の環境管  
 理作業、改修工事、レンジャーの行なう環境管理作業等について報告し、意見交換を行いました。外来  
 種樹木の伐採理由について来園者に分かりやすい説明を表示すること、メタセコイアの伐採、水道企業  
 団工事が終わった後の補植用の苗確保等について意見交換を行いました。次回は2月ごろ行います。

主催行事のサポーターを募集中!

「いきものを知る守るシリーズ「草地のバッタパトロール調査隊」(小学生とその保護者対象の行事)  
 ◆日時 調査編：9月12日(土) 10:00~15:00 保護編：10月3日(土) 10:00~14:00  
 ★お申込み・お問合せは、レンジャー瀧本までどうぞ E-mail: [takimoto@wbsj.org](mailto:takimoto@wbsj.org)  
 「ススメ!秋の森たんけんたい」(未就学児とその保護者対象の行事)  
 ◆日時 10月12日(月・祝)、10月17日(土) 10:00~12:00  
 ★お申込み・お問合せは、レンジャー黒川までどうぞ E-mail: [kurokawa-m@wbsj.org](mailto:kurokawa-m@wbsj.org)  
 サポーターの方の生き物の知識の多寡は問いません。主に安全管理についてご協力いただきます。  
 きっと、観察の森の新たな魅力を発見できますよ。

ホランディン

6/4 ~8/6

ありがとう

6/4 水上重人さん：ホテル調査補助。6/10、17、24、7/2も  
 6/10 雑木林ファンクラブの皆さん：タンポポの道③のソダ柵作成  
 6/10 雑木林ファンクラブの皆さん：薪ストーブ用薪の提供 7/4も  
 6/13 水上重人さん 中里幹久さん：ゲンちゃん・ハイちゃんの紙芝居劇場サポート  
 6/20 理事の皆さん：利用推進会議  
 6/20 村松古明さん：ゲンちゃん・ハイちゃんの紙芝居劇場サポート  
 6/27 雑木林ファンクラブの皆さん：日清オイリオ(株)CSR 対応補助  
 6/27 村松古明さん 小泉喜弘さん：ゲンちゃん・ハイちゃんの紙芝居劇場サポート  
 7/4 雑木林ファンクラブの皆さん：森の家口のトウネズミモチ伐採  
 7/4 雑木林ファンクラブの皆さん：タンポポの道⑩のイヌツゲ伐採  
 7/4 保管理フォローアップの会にご出席いただいた皆さん：桜木の植生調査  
 7/11 水上重人さん 西村実さん：ホテル調査補助。7/17、24、29、8/5も  
 7/18 武田正人さん：三輪バイクの点検  
 7/18 雑木林ファンクラブ 橋詰齊さん 武田正人さん：風倒木処理  
 7/26 漆原弘光さん：「水辺の生きもの調査隊」のサポート  
 7/29 雑木林ファンクラブの皆さん：横浜栄高校フィールドワーク対応協力  
 6/4~8/6：カワセミファンクラブの皆さん：展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供  
 6/4~8/6：事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん：開花情報のご提供  
 6/1~10/31：平野貞雄さん：企画展展示用トンボ写真の提供



横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892 E-mail:[yokohama-nc@wbsj.org](mailto:yokohama-nc@wbsj.org)

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

イラスト・黒川マリア

# 行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●季節行事●

- ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう  
9/6(日) 9:10～ 観察センター前集合  
対象：友の会会員(中学生以上)→1ページ参照
- 森の作業体験「炭焼き」  
9/19(土) 9～14時 炭小屋集合  
対象：小学生以上30名、小学生保護者同伴  
※要申込み(FAXかEメール)→4ページ参照
- カワセミファンクラブ旅鳥写真展  
10/4(日)～11/3(火)  
場所：ゴロスケ館 →5ページ参照
- 横浜自然観察の森秋まつり  
10/25(日) 10:00～13:40  
観察センター前集合(受付9:45～)  
※要申込み(FAXかEメール)→5ページ参照
- いつでも、どこでも、身近な自然の案内人講座  
11/28(土)、29(日)二日間  
※要申込み(Eメール) →5ページ参照

## ●センター主催行事●

- 【草地のバッタ調査隊～調査編～】  
日時：9/12(土) 10:00～15:00(雨天時は9/19)  
※参加者は10/3の保護編にも参加可  
対象：小学生とその保護者40名まで  
申込締切：8/29
- 【ススメ!秋の森たんけんたい】  
日時：10/12(月・祝) 10/17(土) 10:00～12:00  
対象：3～6歳の未就学児とその保護者40名まで  
申込締切：9/30
- 申込はイベント名、全員の氏名、お子様の年齢、  
電話番号、返信先を書いてEメール FAX、往復  
はがきで  
☆ボランティアさん募集!ご興味のある方はレン  
ジャーまで  
担当：自然観察センター

## ●定例行事●

- ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜  
～友の会の活動内容紹介とルールを～  
10/18(日) 9:30～14:00 雨天催行  
受付：直接、自然観察センターの研修室へ  
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴  
\*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

発行日 2015年8月16日  
発行 横浜自然観察の森友の会  
F A X 045-894-8892  
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

## ●定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)  
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～  
9/6(日)・10/4(日)  
1回目 11:00～ 2回目 13:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：どなたでも  
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜
- 定点カメラで動物調査  
9/12(土)・10/10(土)  
9:30～12:00  
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センター  
に確認のこと。  
対象：友の会会員向け  
持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。  
タオル、水筒持参  
集合：ゴロスケ館集合  
活動日：5月～11月の毎月第2土曜日  
●写真展「森の生きものたち」ゴロスケ館にて  
10/10(日)～11/14(土)午前中まで  
担当：定点カメラで動物調査
- みんなでバードウォッチング(野鳥観察)  
～のんびり楽しむバードウォッチング～  
9/13(日)・10/11(日)  
9:00～13:00 雨天中止  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜
- 森の絵本を楽しもう  
～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～  
9/16(水)・10/21(水)  
10:00～12:00 絵本製作  
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも  
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜
- 畑と作物をつくろう  
～生き物にあふれた畑を目指して～  
9/19(土)、10/17(土)  
10:00～12:00 雨天中止  
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも  
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日
- 自然と遊ぼう(園内の自然案内)  
～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～  
8/22(土)・9/26(土)・10/24(土)  
1回目 13:00～ 2回目 14:00～  
受付：30分前から 自然観察センター前にて  
対象：子どもから大人までどなたでも  
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜